

会報 1200 号

第 1 2 5 6 回例会

2020年07月28日

【 第 2 7 9 0 地区「漆原ガバナー公式訪問、船橋RC合同例会」 】



次週例会 8月11日休会、18日(火)夜間例会、於 ; 稲荷屋18:30点鐘
Eメール minorc@sea.plala.or.jp

【漆原摂子ガバナー挨拶】



船橋、そして船橋みなとロータリークラブの皆様こんにちは、本年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦RC所属の漆原摂子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。例会前には、船橋・船橋みなと会長・幹事・会長エレクトそして副幹事の皆様と懇談会を致しましたが、両クラブとも活発な継続の奉仕活動の実施、また両会長の戦略計画には感服致しました。

さて、卓話に入ります前に、地区内グループ再編成についてお話をさせていただきます。7月14日付ガバナー、及び2019-20年度地区戦略計画委員会よりクラブオールで、「地区グループ再編成について」を配信致し、来年7月1日より施行となる当地区の新グループ構成についてご案内しました。当地区会員数(7月末現在)は1997年の4,337名をpeakに減少に転じ、また地域差による会員増減等もあり、グループ間のクラブ数・会員数に大きな格差が生じている現状は、皆様ご存じのことと思います。

斯かる会員数減少およびグループ別クラブ数・会員数格差の現状に鑑み、地区は、数年前より地区戦略計画委員会を中心に「地区グループ再編成」を検討して参りました。

昨年度諸岡 DG は、地区戦略計画委員会の管轄下に、1) 地区リーダー育成会議及び 2) 地区グループ再編会議の2つの会議を設置し、特に地区グループ再編会議に対し、地区内会員減少に伴うガバナー補佐の数の縮小、及びグループ間クラブ数・会員数格差是正を図るグループ再編成案の策定を求めました。

ロータリー章典では、ガバナー補佐1名当たりが担当するクラブ数が4から8と推奨されていることから、地区グループ再編会議は、ガバナー補佐の担当クラブ数を、推奨の最大の8を平均値とするよう、地区内クラブ数82を8で除した数 約10 をガバナー補佐の数すなわちグループ数とする基本方針を定めました。併せて、ガバナー補佐の担当クラブ数公平化を求め、グループ間クラブ数・会員数格差是正を目指しました。グループ再編成にあたってはグループ間合併を優先して欲しいとの、ガバナー補佐会議における意見に配慮しましたが、現グループの分割が必要な場合は、社会生活・経済圏、行政区域、地域面積と交通の利便性等に出来るだけ配慮しながら、再編成案を検討して参りました。そしてグループ再編会議は最終案を2020年6月27日開催地区戦略計画委員会に上程、2021年来年7月1日施

行で採択されました。更にこの新グループ構成は、2019-20年度地区戦略計画委員会諸岡委員長より、7月4日開催「地区諮問委員会」で報告されましたので、地区内クラブに通知を致しました次第でございます。皆様には何卒ご理解いただき、来年7月1日からの10グループによる新スタートへ向けご協力をお願い申し上げます。

さて、直近開催のRI理事会において、今年度の強調事項が3点発表になりました。

- 1、新型コロナパンデミックに対する奉仕活動に、積極的に取り組もうということ。
- 2、まずは現状の会員の維持。
- 3、このような状況下、オンラインツールを利用した会合(理事会や例会、委員会など)に慣れて、積極的に活用しようということ。ただし、オンラインに不慣れな会員さんを取り残すことのないようにお願いします。

また、RI理事会とR財団管理委員会は、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この図の真ん中の絵がそれを示しています。この環境の保全は、グローバル補助金によって実施される奉仕活動のひとつに加わります。この申請は来年、2021年7月1日からとなります。

改めてご紹介致します、今年度のRI会長であるホルガー・クナーク氏、ドイツからは初めてのRI会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されているなどと思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義だと思います。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそR再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常(ニューノーマル)」に適應することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、RI会長の指示でございますので、お話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。
2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

3. 新会員を慎重に選びましょう。
4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。ひとつひとつを見てみましょう。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。また衛星クラブの設立、そして現在のコロナ禍の状況下、Eクラブの設立も有効でしょう。このような活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、RIの4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかかわりを促すという、RIの4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会において、クラブの現在そして未来を考えていただきたいと思えます。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われれます。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め(これもRIの4つの行動計画のひとつです)、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていたくことも一考です。まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

こちらは、私たちが30年以上にわたり取り組んでまいりました、ポリオ根絶運動を周囲にお伝えし、広く支援者・賛同者の輪を広げる目的です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、昨年は世界中で5600件以上のイベントが実施されました。現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のた

めにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増しています。一方、ロータリーが今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在はコロナ感染拡大の防止に利用してもらうことで、支援を続けています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。RIの4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えています。10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようお願い致します。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。YouTubeでの地区研修協議会でもお話致しましたが、今年は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思えます。

奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサービスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、RI事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践するという事は、先程から話に出ております、RIの4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、The Ideal Of Serviceの実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次のThe Ideal of Serviceの実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとれずらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと思えます。

クラブの会長さんには、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開をお願い申し上げます。またクラブの各委員長の皆様は、この図の中で、それぞれどの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長の皆様におかれましては、The Ideal of Serviceを実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材

育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましょうと申し上げて参りました。一方RIは、ロータリーの基本理念は不変であると言い続けています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。

ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。

また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画(中長期的計画)をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手をとりあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがああります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、Rの5大奉仕部門においては仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指すこと、ロータリークラブではそのような人づくりが出来るのです。私自身としては、ロータリーって何？と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。

自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。



【 幹事報告 】 幹事 板橋良夫

他クラブ関係・・・特にありません
当クラブ関係・・・

【 本日のお客様 】

第 2790 地区漆原摂子ガバナー(勝浦RC)
地区幹事西崎和治様(勝浦RC)
第 2 グループ徳永昌子ガバナー補佐(鎌ヶ谷RC)
中野会長ご紹介の入会候補者
クレイドルシステムズ(株) 井上 恵輔 様

【 クラブ協議会 】

船橋RC、船橋みなとRC各クラブから
① クラブ戦略計画(中期計画)各会長から発表、参加者全員によるディスカッション、②クラブの長所、短所、クラブの抱える問題点等、私のロータリーモーション「心に残るロータリー体験」各クラブ3名発表。以上で閉会致しました。

【 出席率 】

例会	月 日	会員	基礎	出席	欠席	MU	%
1253	07/07	14	12	11	1	0	91.67
1254	07/14	14	13	8	5	1	69.23
1255	07/21	14	10	8	2	0	80
1256	07/28	14	10	9	1	0	90

出席免除者＝石井(修)、内海、日野、松本、
欠席者＝佐々木、
MU＝

2020年～2021年	本日	今年度累計
ニコニコBOX	17,000	84,000
コインBOX	736	3,021



中野陽介…井上さんようこそ。

板橋良夫…井上様ようこそ、来週はガバナー訪問です
ので出席して下さい。

佐々木康祐…新しく入った井上様一緒に頑張りま
しょう。

鈴木 正…井上様ようこそ！入会をお待ちしてい
ます。

国分裕二…井上さんようこそ！これからも宜しく
お願いします。

内海 孝…中野さん良かったですね。

【本日のメニュー】

鉄火丼、お吸い物、茶碗蒸し、デザート